

式 辞

鹿児島高専に入学された皆さん、入学まことにおめでとうございます。鹿児島高専の教職員を代表して、心からお祝いを申し上げます。同時に、これまでのみなさんのご努力に敬意を表しますとともに、みなさんを支えてこられましたご家族や関係者の皆様にお祝いを申し上げます。

本日この入学式に集う新生は、本科208名および専攻科23名、並びに6名の編入学生と2名の留学生です。皆さんを新たな仲間として鹿児島高専にお迎えすることは、私たち教職員にとっても大変喜ばしいことです。皆さんが、今日から鹿児島高専で、実り豊かな学生生活を送られることを心より願っております。

まず、本科に入学された皆さんにお話します。現在、全国には57校の高専があり、そのうち51高専は鹿児島高専と同じ国立の高専です。この春、皆さん方を含め、全国で約一万人の新生が入学式を迎えています。

高専教育の目的は、「深く専門の学芸を教授し、職業に必要な能力を育成する」と学校教育法にありますが、高専は、後期中等教育すなわち高等学校の課程が含まれているにもかかわらず、初等中等教育局の管轄下にはなく、高等教育局すなわち大学と同じ部局の管轄下にあります。

したがって、皆さんの身分は生徒ではなく、学生であります。学生の名は、高等教育機関のみで使用できるもので、高等学校に入学した諸君の友人たちは中等教育機関に属するため、学生ではなく生徒であります。生徒とは学校で教えを受けている者、学生とは自ら進んで学業を修める者で、自分の意志で学び、自分の行動に責任をもてる人を意味します。本日より皆さんは鹿児島高専の学生であります。

専攻科に入学された皆さん、専攻科は高専における教育の基礎の上に、「精深な程度において工業に関する高度な専門的知識及び技術を教授研究し、もって広く産業の発展に寄与する人材を養成する」ことを目的としています。鹿児島高専の専攻科生であることに誇りをもって、本科学生と同様の目標となるよう、修了後の進路を見据えて、しっかりと勉強してください。二年間はあっという間に過ぎると思いますが、幅広い専門知識の学習と奥深い研究に全力で打ち込むことで、技術開発力や問題解決能力を備え、広く産業の発展に寄与できる高度で幅広い知識をもった技術者になれると思います。

入学された皆さんは、これからは自ら積極的に計画を立て、本校でしっかりと「学ぶ」ことができれば、就職、進学どちらの進路をとっても、皆さんの前途には輝かしい未来が開かれています。

この「学ぶ」という言葉ですが、吉田松陰は「学ぶのは、職を得るためでもなく、出世のためでもなく、人から尊敬されるためでもなく、人にものを教えるためでもなく、己を磨き、この世の中のために己がすべきことを知るためである。」と教えています。

鹿児島高専で学ぶことにより、社会のために自分自身がすべきことを知り、自分自身の「志」をもつことが重要です。「志」とは、世の中を良くしようという熱い思いで、「私的な願望」ではなく、「社会への貢献」であってほしいと願っています。

この「私的な願望」から「社会貢献」への志は、リーダーシップの源であり、組織の優れたリーダーになるためには、「利己」ではなく「利他」の精神をもって、それを実行するという有言実行の覚悟が必要なのです。

皆さんは、社会に出て技術者として活躍するわけですが、「私的な願望」から「社会貢献」へと自分の軸を移すことで真のリーダーとなり、その行動に賛同者が出現し、やがてそれは大きな渦となり組織にイノベーションが生まれると思っています。ぜひ、自分自身の「志」を考え、自分の人生戦略を真剣に練り上げてください。

これから本校で様々なことを学ぶこととなりますが、学習や生活のことなどで悩みがあれば、何でも皆さんの相談に応じますので、遠慮なく教職員に相談してください。皆さんが困難を克服して成長していかれることが、私たち教職員にとって何よりの喜びであり、私たち教職員は皆さんの学びを全力で支えていきます。

さて、科学技術の発展は、かつて人類が抱えていた多くの問題を解決しましたが、同時に新たな問題を発生させました。

地球の気候変動や環境破壊、大規模な自然災害や原子炉の処理、世界的な感染症の拡大などは、人類の社会経済活動の急速なグローバル化により顕在化してきたものと考えられます。

これらは地球規模の深刻な問題であり、人類の存続を脅かしています。私たちは、人類の未来のために、学問の力を通じてこれらの諸問題の解決に貢献しなければなりません。

これらの課題は、いずれも難問ですが、皆さんはぜひ、それぞれの専門を生かして、これらの諸問題を解決することに挑戦し、貢献してほしいと願っています。

異なる専門の視点から知恵を出し合い、地域や国境を越えて共に行動し、協力して社会をよりよい状態に導くのです。これこそが、真のグローバル化であると思っています。私が皆さんに期待する技術者は、知識を武器として活動し、世界を舞台に、人類社会に貢献するような技術者です。

最後になりますが、本日は中重霧島市長様はじめ河野霧島市教育委員会教育委員、相良同窓会長、徳永後援会長の皆様をお迎えして令和3年度入学式を挙行することができました。お忙しい中ご出席いただきました皆様方に改めて厚くお礼申し上げます。

新入学生が本分を全うし、実り豊かな学生生活を送ることができるよう教職員一同最善を尽くしてまいりますので、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

これからの学生諸君の実り多い高専生活を心から祈って、式辞とします。

令和3年4月4日

鹿児島工業高等専門学校長

氷 室 昭 三